鹿児島　韓国岳･開聞岳
日程：2009 年 3 月 27(金)、29 日(日)

メンバー：L 白土(記録)

鹿児島へ山旅に出かけた。山には韓国岳と開聞岳に登った。そして良質な温泉に入り、おいしい食事をたらふく食べ、とても満ち足りた旅であった。

韓国岳
2009 年 3 月 27(金)
えびの高原 12:38～13:25 韓国岳山頂～大浪岳避難小屋～14:40 えびの高原

　えびの高原から少し上にある登山口にレンタカーを止めて入山する。平日ということもあり登山者はまばら。ザックが軽いので早歩きで登り山頂に到着。誰もいなくて風は強い。火口はきれいな円形で、隣の新燃岳や大浪岳も同じようにきれいな円形の火口だ。どんよりした天気で風が強いので大浪岳に登るのをやめて、避難小屋経由でえびの高原に下山した。

開聞岳
2009 年 3 月 29 日(日)
ふれあい公園 8:38～10:00 開聞岳山頂～11:20 ふれあい公園

開聞岳はどこから見てもきれいな円錐形で、富士山より均整がとれている。見た目がすばらしい山だ。山麓公園の駐車場から入山する。日曜日だが登山者はまばら。樹林帯の登山道をひたすら登る。この登山道も独特で、山腹を時計回りに螺旋状に伸びている。だからずっと同じ様な登山道が山頂まで続いている。標高が上がるに従い風が強くなってきた。ここ何日かは寒の戻りで風が冷たく、南国の暖かい陽気はまったくない。山頂からの眺めはすばらしい。三方が海に囲まれていて、このような山は島の山以外では珍しいと思う。記念写真を撮って早々に下山する。登りをハイペースで登ったこともあるが、下りもペースがほとんど同じで、登り下りとも行動時間がほとんど同じの珍しい登山となった。

韓国岳

開聞岳

[温泉]

鹿児島は良質な温泉が多数あり、温泉好きにはたまらないエリアであることがわかった。そんな中、鹿児島空港からえびの高原へ向かう途中で塩浸温泉に入った。源泉掛け流しで 250 円でとても良いのだが、今月末で営業終了であり残念だ。また新燃岳の麓にある一軒宿、国民宿舎新燃荘に宿泊した。静かでひなびていて趣のあるいい宿である。温泉には湯の花がたくさん沈殿しており、白濁した、いいお湯がおしげもなく大量に掛け流されているすばらしい温泉だ。宿泊費は人数、曜日にかかわらず 1 泊 2 食で 7350 円と良心的だ。開聞岳下山後に開門温泉に入った。わかりにくいところにあるが赤褐色のお湯が掛け流しのいいお湯だ。250 円。鹿児島には温泉がたくさんあり、ほとんど 200～300 円程度で入れる。関東周辺では 500 円では安い方であるが、鹿児島では 500 円だと高く感じる。

韓国岳の麓の新燃荘

[食事処]

おいしいものもたくさんある。黒豚が有名であるのでトンカツをいただいた。鹿児島中央駅近くの「川久」で上ヒレカツ定食 1700 円。ボリュームがあり大満足。開門岳の麓には指宿市営の流しそうめんというのがあって、テーブルの上に円形の水槽があり、ぐるぐると水が回っている。そこにそうめんを入れ、すくって食べる。私は初めて見たが地元では有名らしい。これが楽しくておいしい。鯉のあらいやニジマス塩焼きなども付いて 1500 円。これまた大満足。さつま揚げ工場の見学では、さつま揚げとかるかんの試食をした。また、ぢゃんぼ餅もうまかった。時間切れで鹿児島ラーメンは高速道路の S.A.で食べたがやはりイマイチであった。

篤姫の石橋(西田橋)

[観光]

鹿児島市内は明治維新や、篤姫ムードで満ちあふれている。私も幕末は好きな時代であり、市内観光も楽しかった。時間がなくて十分見学できなかったのが残念だが、興味ある人は時間を確保してじっくり見て回れたら楽しいと思う。地元の人たちはみないい人たちで、すぐに話しかけてくるし話も盛り上がる。鹿児島はなかなかいいところだ。

回る流しそうめん(開聞岳の麓)

きれいな円錐形の開聞岳